



2024年10月30日

各位

会社名 大同特殊鋼株式会社
代表者名 代表取締役社長 清水 哲也
(コード番号5471 東証プライム、名証プレミア)
問合せ先 総務部長 永井 崇
(TEL. 052-963-7501)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2024年5月10日に公表しました通期連結業績予想を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

記

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する 当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A) (2024年5月10日発表)	百万円 600,000	百万円 48,000	百万円 50,000	百万円 33,000	円 銭 154.84
今回修正予想(B)	580,000	40,000	42,500	28,000	131.36
増減額(B-A)	△20,000	△8,000	△7,500	△5,000	
増減率(%)	△3.3	△16.7	△15.0	△15.2	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	578,564	42,250	45,068	32,574	143.37

修正の理由

当社の主要需要先である自動車関連の受注は、中国における日系自動車メーカーの販売不振や認証不正問題による自動車生産減少の影響で当初計画を下回ることが予想されます。また、産業機械関連では足元において需要の回復に足踏みが見られます。そのため、当初の計画では下期に向けて緩やかな回復を織り込んでいたこともあり、受注数量は計画を下回ることが予想されます。半導体関連の受注に関しても、持ち直しの動きもみられるもののサプライチェーンにおいて在庫調整が継続しており、本格回復の時期は2025年度になると考えております。これらの受注環境を踏まえ、2024年度下期の売上数量に関しては、ほぼ上期並みの水準を想定しております。一方で自由鍛造品に関しては、掘削関連の製造認定を取得したことにより受注が拡大しており、引き続き堅調を維持していくと考えております。

コスト面では、主要原材料である鉄屑価格は落ち着いているものの、物価高騰下において各種調達コストの上昇なども想定されるなかで、追加のコスト削減や生産量に見合った最適生産運営など様々な経営努力を行うことで、徹底したコスト削減を継続してまいります。

通期の連結業績につきましては、自動車関連および産業機械関連の受注数量が計画を下回る状況において、追加のコスト削減を行っていくものの、当初計画した利益水準には届かないことが予想されるため、2024年5月10日に公表した通期の連結業績予想の数値を上記のとおり修正いたします。

(注記)

上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上